

2020/12/4

(うとQ世話し 崩壊理由と対策)

過去、歴代の興亡史を自分なりに見渡してみても、恐らくこれが滅亡、衰退の共通原因乃至はそのきっかけであろうと思われるものが二つありました。

一つは以前にお話申上げました「公私の混同」

そうして本日は、その二番目の「内外(うちそと)の乖離」

です(二つとも自己矛盾圧力による崩壊です)

もう少しどぎつく申し上げますと「実態と見せ掛け(恰好つけ)の大差」

この辺ですぐさま思いつくのは、粉飾決算、大本営発表、誇大広告とかでしょうか。

常に右肩上がり、常勝、完璧、全てインチキです。

そもそも常に上昇、負けなし、完全無欠等というものはこの世にありはしません。

ですが、反面、確かに内外を合わせるようにすると、逃げ場がなくなり、バッファも取れずに鉄砲玉には当たりやすくなりますが、反対に肚が座って却って潔い気持ちにもなりません。

それこそ格好よくいえば

「こちらに嘘はない。逃げも隠れもせぬ故、何処から也と掛かってこい」

みたいな。

私事で誠に恐縮ですが、嘗て新しい会社に移った折、歓迎会の自己紹介でいきなり

「自分は12年間うつ病を患い、奥さんに逃げられました。なので、大抵の事は平気だと思います」

とやった処、大騒ぎになりました。

「いきなり女子の同情狙いかよ」

「宴席の場でする話じゃないだろう、いくら何でも」

とかです。

その会社の新しい職場は女子の多い職場だったので、自分は以下の様に考えての言動でした。

曰く

「後で「ねっ、聞いて、聞いて」風に実態がばれる方が余程心象が悪い。例えば、あの人うつ病だったんですって、とか、あの人、奥さんに逃げられたんですって、とか、少しずつボロが出るより、通るか通らないか分からないが、ここは一発、初っ端から化けの皮を自ら剥がしておいた方が後々の心象がよさそうだ。通らなければ、それはそれで仕方あるまい」との算段でした。小出しに出てくる埃を一度にはたきだそうとした訳です。

ですが、人の噂(は)七十五日(続くが)、人の噂(も)七十五日(で消える)。

結果は76日目以降に後者の方が勝ってきました。

実態は、おっかなびっくりの賭けでしたが、何とかすり抜ける事が出来ました。

この経験から以降は最初に「最悪」を出し後は極力内外を合わせる様になりました。

余談)

自ら真っ先に「最低ライン」迄行った方が、その後が全て積み上げとなるので、心理的には安定出来て、却って結果はよくなる傾向があるようです。